



黄「Adagio（アダージョ）」

『鶴は千年、亀は万年』。悠久の時の波を泳ぎ続ける亀は、いかにしてその気の遠くなるような一生を全うするのか。特別なことはない。ただ「今、この瞬間」を確実に刻むことの繰り返しだ。陽の光が差し込む海中で、積み重ねた叡智を背負い、自ら輝きを放つ亀。穏やかな時の流れの中で変わらぬ一秒を刻むその一瞬を、とくにご覧あれ。



黒「祭の記憶」

イカは老いても記憶力が人と比べ衰えにくいそうです。膨大な時間と労力をかけてつくった体育祭も、次の日には片付けられ、解体されてしまう儚いものです。それでも、この絵の中のイカは、祭が終わり、全てが無くなったあとも、あの日何があったのか、どんな景色だったのかを覚えていてくれるでしょう。